

大気汚染

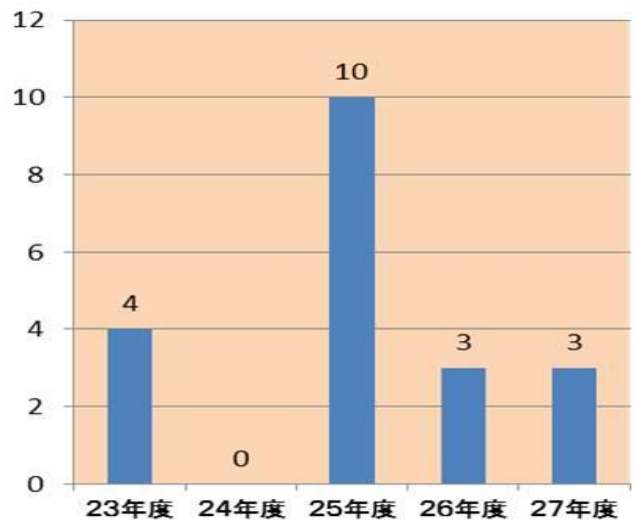
工場の煙や自転車の排気ガスなどで空気が汚れていること。ぜんそくなどの原因になっています。

地球の温暖化

空気中の二酸化炭素などが増えて、地球全体の気温が上がること。太陽によってあたためられた地表の熱を二酸化炭素などが地球のまわりに閉じこめてしまうため、地球の温度が上がってしまうことです。

光化学スモッグ

空気中のちっ素酸化物などが紫外線の影響で反応するとオキシダントにかわります。日差しが強く、風が弱い日にオキシダント濃度が高くなり、白くモヤがかかったような状態を、光化学スモッグと呼んでいます。オキシダントは動物や植物に害があり、わたしたちの体に入ると、頭や目が痛くなったり、吐き気がしたり、息が苦しくなったりします。



酸性雨・酸性霧

空気の汚れが原因となって、酸性（レモン汁などのように酸っぱい液体が持つ性質）を示すようになった雨や霧のこと。強い酸性雨・酸性霧は森林を枯らしたり、スフィンクスなどの遺跡や大理石でできた建物などを侵食したりする原因とされています。

オゾン層の破壊

太陽から出ている生物に害のある紫外線を吸収してくれているオゾン層が、フロンガスなどによって壊されていしまっていることをいいます。

イオウ酸化物

石油や石炭をもやした時に、その中にふくまれているイオウと空気中の酸素が結びついたもの。息が苦しくなったり、ぜんそくなどの原因になったりします。また、植物の生長にも影響があります。

ちっそ酸化物

石油などがもえる時に、空気中の窒素と酸素が結びついたもの。工場のけむりや自動車のはい気ガスにふくまれています。すいこむと、のどや目がいたくなります。また、紫外線の影響でオキシダントに変化して、光化学スモッグの原因になっています。

一酸化炭素

ものが完全にもえない時に出るもの。自動車のはい気ガスにふくまれています。頭がいたくなったりはき気がしたりします。

二酸化炭素

ものをもやしたり、生き物が呼吸をしたりする時に出るもの。地球の温暖化の原因といわれています。

浮遊粒子状物質

空気中にただよっている小さい粒のこと。すす、ほこり、花粉の他、ディーゼルエンジンのはい気ガスにふくまれているものがあります。ぜんそくやアレルギーの原因になったり、ガンをひきおこしたりするおそれがあるといわれています。
※現在ではディーゼルエンジンのはい気ガスは規制が進んで少なくなっています

フロンガス

冷蔵庫やエアコン、電子機器の洗浄剤などに使われているもの。空気中にもれだすと、ずっと残ってしまい、上空にいくとオゾン層を破壊してしまいます。以前は、殺虫剤などのスプレーにも使われていました。